

東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター 通信

第90号 2020年10月

目	次
巻頭図版 「首里城図」部分 十一月二十五日付琉球国世主宛御内書案三点 (岡本 真) …… 2	『琉球沖縄本島取調書』所収「首里城ノ図」に ついて (渡辺美季) ……18
東京大学史料編纂所所蔵の琉球関係拓本 (高橋慎一郎) …… 6	「首里城並諸方絵図間付差図帳」について (黒嶋 敏) ……25
「琉球首里ノ圖」・「琉球那覇圖」 —古河歴史博物館蔵「鷹見泉石関係資料」より— (渡辺美季) ……10	海図「大琉球那覇港之圖」に描かれた首里城 (今井健三) ……33
	文献案内 ……37
	画像史料関係文献目録 ……39
	活動抄録 ……40



「首里城図」部分 (東京大学史料編纂所所蔵「首里城並諸方絵図間付差図帳」所収、25頁参照)

特集 首里城と琉球王国

2019年10月31日に発生した火災により、復元された首里城の正殿をはじめとする主要建物が全焼し、展示されていた文化財などもあわせて焼失した。琉球王国の歴史を体感する場として整備されていた首里城が灰燼に帰した衝撃は大きく、また、かけがえのない文化財までも雲散霧消してしまった損失は計り知れないが、その再建計画のなかでは、再発防止のための様々な手段が講じられることになるという。本号では、その首里城と琉球王国に関する論考を集め、特集号を組むこととした。今後の首里城ならびに琉球史の研究に、少しでも寄与することができればと思う。(黒嶋 敏)